

限りない未来の創造



株式会社
遠藤製作所



2013年3月期 第2四半期決算説明会

2012年11月28日

株式会社遠藤製作所
(7841)

— 目次 —



2013年3月期第2四半期 決算概要

2013年3月期 業績予想

遠藤製作所の目指す方向



2013年3月期第2四半期 主要IRトピックス

株式会社
遠藤製作所

2012年5月 2012年3月期決算を発表

8月 「主要株主である筆頭株主及び主要株主異動に関するお知らせ」を
発表

11月 「業績予想の修正に関するお知らせ」を発表

11月 「海外子会社の解散及び清算に関するお知らせ」を発表

11月 「自己株式の取得に係る事項の決定に関するお知らせ」を発表



2013年3月期第2四半期 決算概要



2013年3月期第2四半期(累計) 決算概要

- 売上高はゴルフ事業で、タイ洪水以降、前期受注分の出荷が今期にずれ込んだこと、自動車等鍛造部品事業が予想を上回ったことから増収
- 営業利益・経常利益は、売上高の増加等により増益だが、ゴルフ事業の生産急増によるコストUPから期初予想対比ではマイナス
- 純利益は、前年同期のマイナスから黒字に転換

■業績

(百万円)

	12.3期2Q	13.3期2Q	増減額	増減率	備考	(期初予想)	差異
売上高	7,284	8,727	1,443	19.8%		7,906	821
営業利益	282	321	39	14.0%		521	▲200
経常利益	169	288	119	69.8%		489	▲201
純利益	▲48	63	111	-		410	▲347

■期中平均為替レート

(円)

	12.3期2Q	13.3期2Q	前年同期比較	備考	(期初予想)
円/Baht	2.65	2.54	0.11円の円高		2.50
円/Us\$	79.82	79.41	0.41円の円高		79.00



2013年3月期第2四半期(累計) セグメント別売上高及び営業利益

■売上高

(百万円)

	12.3期2Q	13.3期2Q	増減額	増減率	増減の理由
ゴルフ事業	3,930	4,978	1,048	26.6%	タイ洪水復旧後前期受注分の出荷が集中
ステンレス事業	488	468	▲20	▲4.0%	前年と比較してほぼ横ばい
自動車等鍛造部品事業	2,865	3,280	415	14.5%	自動車・農耕機部品が堅調
合計	7,284	8,727	1,443	19.8%	

■営業利益

(百万円)

	12.3期2Q	13.3期2Q	増減額	増減率	増減の理由
ゴルフ事業	▲48	▲11	37	-	前年同期比で改善したが、生産急増によりコスト高となった
ステンレス事業	55	26	▲29	▲52.9%	ほぼ上期予算どおり
自動車等鍛造部品事業	545	577	32	5.9%	売上高の増加等で増益
消去又は全社	▲271	▲270	1	-	
合計	282	321	39	14.0%	

■営業利益率

	12.3期2Q	13.3期2Q			備考
ゴルフ事業	-	-			
ステンレス事業	11.5%	5.6%			
自動車等鍛造部品事業	19.0%	17.6%			
合計	3.9%	3.7%			



キャッシュ・フロー、貸借対照表、財務指標

キャッシュ・フロー

(百万円)

	12.3期2Q	13.3期2Q	差異	増減率	備考	(12.3期末)
営業活動によるキャッシュ・フロー	982	734	▲248	▲25.3%		1,279
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲598	▲473	125	20.9%		▲1,212
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲712	▲469	242	34.0%		▲698
現金及び現金同等物の増減額	▲414	▲205	▲209	-		▲765
現金及び現金同等物の期末残高	2,857	2,301	▲556	▲19.5%		2,506

貸借対照表

(百万円)

	12.3期2Q	13.3期2Q	差異	増減率	備考	(12.3期末)
流動資産	9,843	9,860	17	0.2%		9,862
固定資産	7,945	8,035	90	1.1%		7,825
流動負債	4,779	4,176	▲603	▲12.6%		4,334
固定負債	1,752	2,063	311	17.8%		1,772
純資産	11,257	11,656	399	3.5%		11,581
総資産	17,788	17,896	108	0.6%		17,688

財務指標

	12.3期2Q	13.3期2Q
自己資本比率	63.3%	65.1%
1株当たり純資産(BPS)(円)	1,210.28	1,324.37
1株当たり四半期純利益(EPS)(円)	▲5.24	7.27
自己資本利益率(ROE)	▲0.4%	0.5%
総資産純利益率(ROA)	▲0.3%	0.4%

限りない未来の創造



株式会社
遠藤製作所



2013年3月期 業績予想



2013年3月期 業績予想

- ゴルフ事業の上半期の売上増や自動車等鍛造部品事業が堅調なことから増収予想
- 営業利益・経常利益は、ゴルフ事業で上半期に洪水後の生産急増に伴う外注費や製造経費等の増加があり、年間で減益
- 当期純利益は、海外子会社の解散等に伴う特別損失計上

業績

(百万円)

	12.3期	13.3期予	増減額	増減率	備考	(期初予想)
売上高	15,365	16,879	1,514	9.9%		16,058
営業利益	1,213	1,027	▲186	▲15.3%		1,226
経常利益	1,116	964	▲152	▲13.6%		1,166
当期純利益	809	515	▲294	▲36.3%		956

費用等

(百万円)

	12.3期	13.3期予	増減額	増減率	備考
減価償却実施額	794	861	67	8.4%	
設備投資額	1,258	1,145	▲113	▲9.0%	

期中平均為替レート

	12.3期	参考(12.3期3Q)			備考	(期初予想)
円/Baht	2.62	2.50				2.50
円/Us\$	79.84	79.00				79.00

1株当たりの配当金

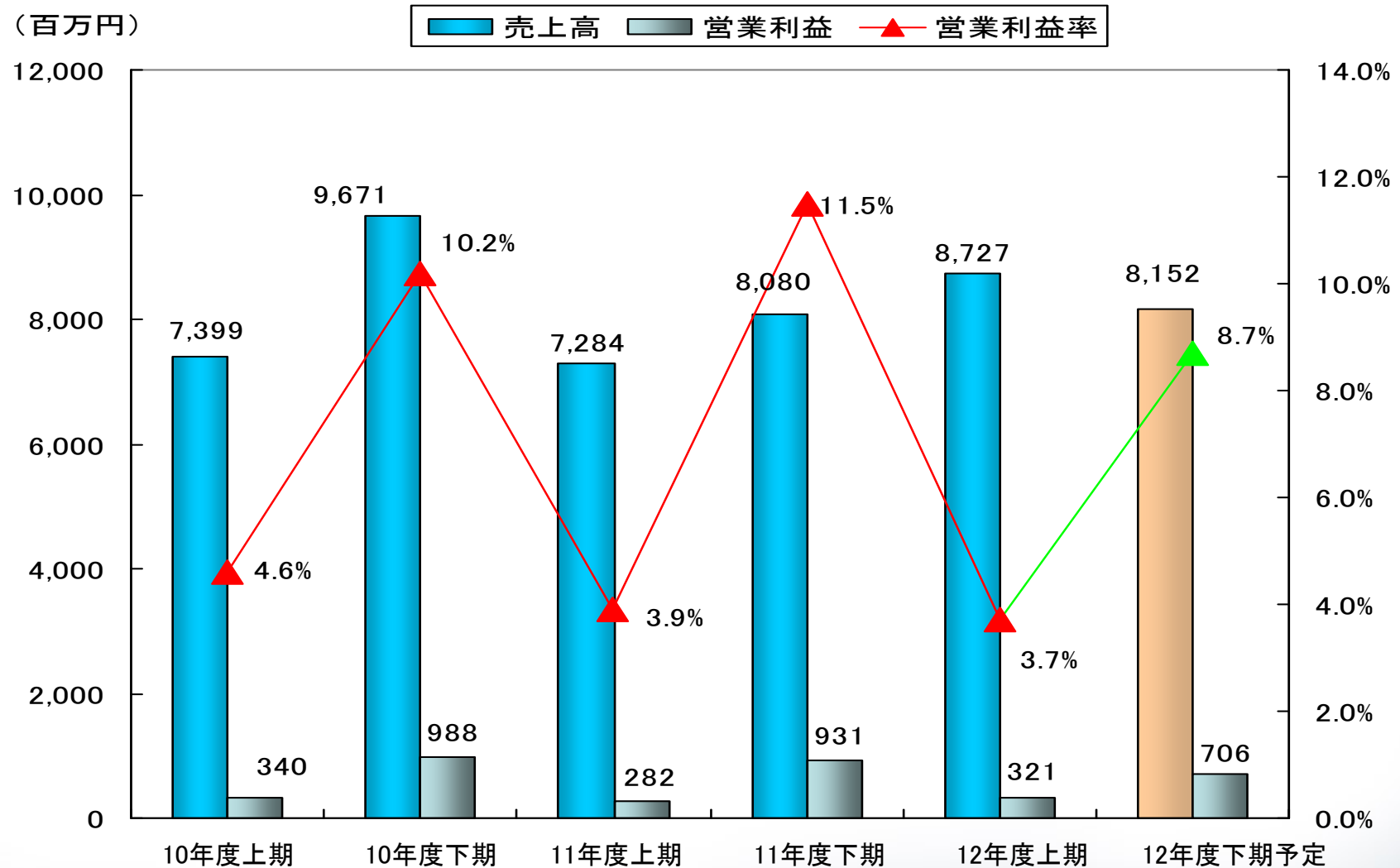
	09.3期	10.3期	11.3期	12.3期	13.3期予
1株当たりの配当金	10.00円	10.00円	10.00円	10.00円	10.00円



売上高、営業利益の推移

10年～12年度の半期毎の売上高、営業利益、営業利益率

(百万円)





2013年3月期 セグメントごとの業績予想

売上高

(百万円)

	12.3期	13.3期予	増減額	増減率	備考	(期初予想)
ゴルフ事業	8,792	9,534	742	8.4%		9,023
ステンレス事業	976	1,037	61	6.3%		1,064
自動車等鍛造部品事業	5,596	6,308	712	12.7%		5,972
合計	15,365	16,879	1,514	9.9%		16,058

営業利益

(百万円)

	12.3期	13.3期予	増減額	増減率	備考	(期初予想)
ゴルフ事業	617	387	▲230	▲37.3%		687
ステンレス事業	96	119	22	22.9%		122
自動車等鍛造部品事業	1,047	1,051	4	0.3%		947
消去又は全社	▲548	▲531	▲17	—		▲530
合計	1,213	1,027	▲186	▲15.3%		1,226

営業利益率

	12.3期	13.3期予			備考	(期初予想)
ゴルフ事業	7.0%	4.1%				7.6%
ステンレス事業	9.8%	11.5%				11.5%
自動車等鍛造部品事業	18.5%	16.7%				15.6%
合計	7.8%	6.1%				7.6%

限りない未来の創造



株式会社
遠藤製作所



遠藤製作所の目指す方向



企業理念『限りない未来の創造』を具現化する。

1. グローバルなサプライチェーンの中で、欠かせない存在の企業となる

時代性、先進技術、高品質の三位一体の強みをもって、メタル(金属)製品のグローバルなサプライチェーンの中で、「ENDOにしか出来ない」という欠かせない存在の企業となる。

2. 「鍛造」をコア技術とする製造から、新たな顧客価値を生む

『鍛造』をコア技術(テクノロジー)とする製品製造から、市場・顧客に誠実な価値を提供する。その継続的かつ健全な利益の中から、将来に向けての十分な投資余力と従業員への適正分配を確実にして、事業の拡大発展を目指す。

3. もの造り最優先の企業風土を育成する

アジア・日本を代表する製造業として、もの造りを最優先する企業風土、組織的・合理的な会社の体質、革新に一丸となって挑戦する従業員気質を育む。



ゴルフ事業の目指す方向

《市場の要求》

- ・製品の高機能化、ハイデザイン化
- ・製品の企画の短サイクル化
- ・需要の二極化(高機能・低価格)

ENDOの課題

- ・ゴルフクラブ市場トレンドへの対応
- ・技術の高度化、製造リードタイムの短期化に対応した生産体制の確立
- ・製造コストの削減

Strong Pointの確立

- 「鍛造」を基礎技術とする新機能、新技術開発の強化
→提案型OEM製造等の位置付強化
- 製品トレンド(高機能・ハイデザイン化)に適合した生産体制の再構築
→タイ工場の改革、機能強化
- 取引先ブランドとのコラボレーション強化
→共同先行開発、コストダウンのシミュレーション

《競合の動き(中国メーカー)》

- ・低コスト・大量生産
- ・製造技術の進歩(特に鑄造製品)
- ・中国メーカーの不安→人件費UP、納期と品質の問題

Next Steps

■ 開発・技術部門の機能強化

要素開発の テーマ 飛び・顔・打感	鍛造の技術革新	マスターモデル製作+キャドモデリングの先進技術
-------------------------	---------	-------------------------

■ タイ工場の生産ラインの改革

製品特性に合わせた製造工程の改革	戦略的設備投資	技術者の育成
------------------	---------	--------

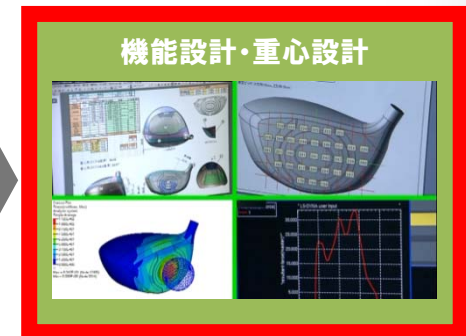
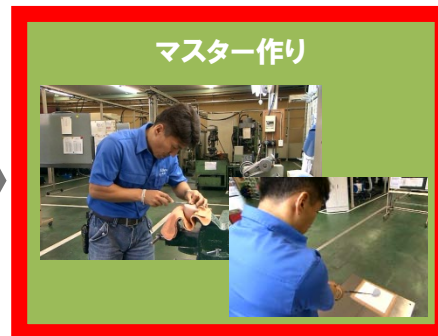
■ 取引先ブランドとのコラボレーション強化

取引先から取組先へ	開発段階からの綿密な連携	確実な生産計画スケジュールの共有
-----------	--------------	------------------



感性をカタチにする技術と開発力

ENDOのゴルフ事業の先進技術





感性をカタチにする技術と開発力

ENDOのゴルフ事業の先進技術

マスター作り



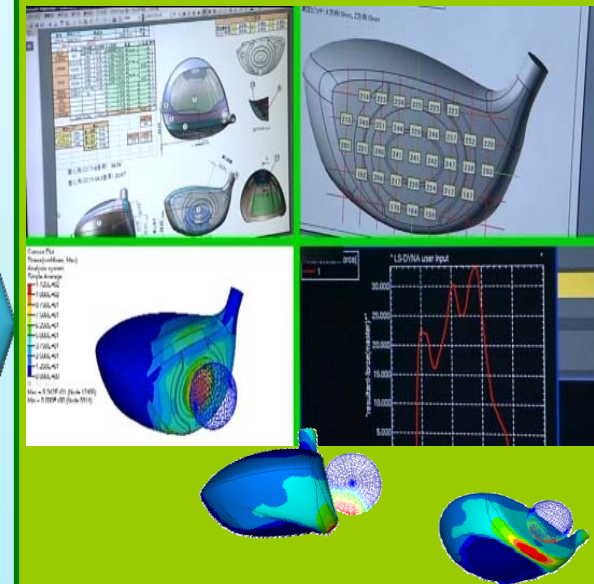
イメージをカタチに・・・
マスタークラフトマンによる熟練の手の
技。木型を削っては構え、構えては削る。
プレイヤーの心理をカタチに作る。

マスターCADモデリング



完成した木型(アナログ)から
3Dデータ(デジタル)に変更する。
世界トップクラスのCADモデリング
技術力。

機能設計・重心設計



飛び、打感、打音を設計する。
高い解析技術に基づく機能設計・
重心設計によって、
ヘッドに魂を入れる。



ステンレス事業の目指す方向

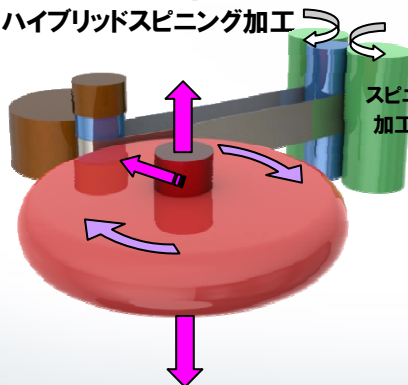
《市場の要求》

- ・先進諸国市場の停滞
- ・新興国市場と低速機種拡大
- ・新機種、新機能製品の開発

ENDOの課題

- ・メタルスリーブ 高速・高機能 機種対象に市場シェア確保
- ・販路が限定されている
- ・製造効率の改善

サポイン事業
ハイブリッドスピニング加工



スピニング加工とリングロール圧延加工、それぞれの長所の融合

Strong Pointの確立

- 高速・高機能機種対象の高付加価値製品の開発
- 販路の拡大・複線化
- 最適生産プロセスの再構築

《競合の動き》

- ・合成樹脂製品の採用増
- ・市場低迷から来る価格競争激化

Next Steps

■ 新機能・新分野開発への挑戦

サポイン経済産業省プロジェクト
・
高疲労強度化への取組

→
メタルスリーブの次世代製品開発

→
新分野への拡大取組

■ 販路開発

新販路先との取引開始

新分野への販路開発
(医療・電池等)

■ タイ工場の生産効率アップ

タイ工場への生産集中による効率化
(ベトナム工場の閉鎖)

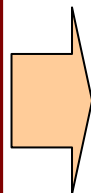
製造効率の改善



自動車等鍛造部品事業の目指す方向

ENDOの課題

- ・拡大する自動車サプライチェーンの需要に応える生産体制の確立
- ・次世代に向けた事業ビジョンの確立とトライアル



《市場の要求》

- ・東アジア市場の拡大
- ・自動車メーカーのタイにおける事業基盤強化



Strong Pointの確立

- ・2011～2012年タイ工場増床の完成
 - ・エア－ハンマー3基増設により、当分野でタイ市場での圧倒的NO.1生産能力を確立
- ・新分野・新市場への領域拡大
 - ・農耕機部品事業への本格参入



《競合の動き》

- ・自動車メーカー系列の部品メーカーのタイ進出
- ・コスト競争激化へ

Next Steps

■ 増床後の増産体制の本格稼動

生産能力
20%UP

繁忙差を吸収した
パーフェクトな
生産体制の完成

■ 新分野の事業確立

アジア諸国の
農業改革に
合わせた農耕機
部品の製造

より付加価値の
高い分野へ

■ 開発インフラの強化

開発のクオリティ・
スピードUP
ゴルフとの先端
技術の共用



本年8月完成のエンドウフォーミング社工場増床



メディカルデバイス事業の目指す方向

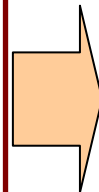
《市場の要求》

- ・国内外市場にニーズ有り
- ・企業認知度の要求



ENDOの課題

- ・インプラント事業の拡大
- ・取扱製品群の拡がり
- ・価格政策の確立



Strong Pointの確立

- ・国内外販路の拡大
- ・インプラント取扱いアイテムの拡大、術器具分野への参入
- ・製造原価の低減・効率化



《競合の動き》

- ・価格の競合、値引の要請
- ・ハイレベルな技術力

Next Steps

■ 海外市場開発のためのマーケティング

徹底したマーケット
リサーチ
（アメリカ、アジアの先進
医療機関ドクターとの
コミュニケーション形成）

世界の展示会へ参加



シカゴでの展示会

■ 新しいトライアルアイテム



廉のインプラント



術器具 (ピンセット)



全てのステークホルダーに向けて

エンドユーザー

顧客感動
商品とサービス

お取引先

高品質商品
の供給
利益貢献

従業員

働き甲斐
給与待遇・
評価

株主

株価と配当
株主還元

地域社会

雇用・納税
地域貢献



本日は誠にありがとうございました。

本資料における注記事項

本資料は連結ベースで作成しております。

本資料は投資家の参考に資するため、株式会社遠藤製作所(以下、弊社)の現状を理解して頂くため発表済みの決算内容や業績予想について作成したものです。

本資料に記された内容は、現時点において一般に認識されている経済・社会の情勢及び弊社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化などの事由により、予告なしに変更される可能性があります。

<お問い合わせ先>

株式会社遠藤製作所 経営企画部・総務人事部
TEL:0256-63-6111 FAX:0256-62-6118
E-mail:e-mail@endo-mfg.co.jp
URL <http://www.endo-mfg.co.jp>